

次葉  
**鑑定評価員等・土地評価精通者の希望届出書（不動産鑑定士用）** 記載例

2 枚のうち 2 枚目

希望する不動産鑑定士が複数名いる場合には、「届出書次葉」をコピーして、ご使用ください。  
 この場合のシート名は、「届出書次葉」「届出書次葉(2)」・・・  
 「届出書次葉（鑑定士名）」など、シート名に「次葉」が含まれるようにしてください。

2 不動産鑑定士に関する事項	⑤ 希望する業務		<input checked="" type="checkbox"/> 鑑定評価員等 <small>（不動産鑑定業者の業務として）</small>		<input checked="" type="checkbox"/> 土地評価精通者 <small>（不動産鑑定業者の業務として）</small>		<input type="checkbox"/> 土地評価精通者 <small>（個人として）</small>	
	⑥ 住所				⑦ <input checked="" type="checkbox"/> 不動産鑑定士 <input type="checkbox"/> 不動産鑑定士補			
	⑧ 氏名		⑨ 生年月日		⑩ 登録番号			
	⑪ 電話番号		⑫ メールアドレス					
	⑬ 精通している地域等		市区町村名又は 税務署名		A市B区 C市 D市 E町 F市 G市		⑭ ZIP (AES256) 形式 への対応の可否 可	
			種別		<input checked="" type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 農地 <input checked="" type="checkbox"/> 山林			
	⑮ 直近3年間の不動産鑑定業務に係る職歴及び実績							
	職歴				事務所の名称			
	令和5年1月1日～令和6年12月31日				株式会社国税不動産鑑定士事務所			
	令和2年9月1日～令和4年12月31日				株式会社税務不動産鑑定所			
	上記のうち病気・出産等により 従事できなかった期間				令和3年10月1日～令和4年7月31日 出産等のため			
	件数		区分		一般の 鑑定評価		大規模工場用地の 鑑定評価	
			期間		鑑定評価		鑑定評価	
			令和6年1月1日 ～令和6年12月31日		10 件		3 件	
			令和5年1月1日 ～令和5年12月31日		12 件		2 件	
		令和3年3月1日 ～令和4年12月31日		6 件		0 件		
その他の実績		地価公示担当の有無		都道府県地価調査担当の有無		固定資産税鑑定担当の有無		
		令和8年 有		令和7年 有		令和6年度評価替		
		所属分科会名 担当市区町村		所属分科会名 担当市区町村		有		
		第5分科会 A市B区		第3分科会 D市		担当市区町村		
		<input checked="" type="checkbox"/> 代表幹事 <input checked="" type="checkbox"/> 分科会幹事		<input checked="" type="checkbox"/> 代表幹事 <input checked="" type="checkbox"/> 分科会幹事		F市		
		令和7年 有		令和6年 有		G市		
		所属分科会名 担当市区町村		所属分科会名 担当市区町村		<input checked="" type="checkbox"/> 代表鑑定評価員		
		第8分科会 C市		第2分科会 E町		<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村幹事		
		<input checked="" type="checkbox"/> 代表幹事 <input checked="" type="checkbox"/> 分科会幹事		<input checked="" type="checkbox"/> 代表幹事 <input checked="" type="checkbox"/> 分科会幹事		<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村幹事		
<input checked="" type="checkbox"/> 以上、上記記載の内容に相違ありません。								

⑬の「精通している地域等」の「市町村名又は税務署名」欄には、希望する地域等を記載します。ただし、依頼する地域等は、必ずしも希望する地域等とならない場合があります。

直近3年間の不動産鑑定業務に係る職歴を記載します。  
 なお、記載例の場合には、出産等により従事できなかった期間が10か月間あるので、その10か月間を除いて通算3年半となるよう、  
3年半+10か月間=4年4か月間  
 の職歴を記載します。

直近3年間の不動産鑑定実績を記載します。  
 なお、記載例の場合には、出産等により従事できなかった期間が10か月間あるので、その10か月間を除いて通算1年間となるよう、  
1年間+10か月間=1年10か月間  
 の実績を記載します。

全ての記載を終え、記載内容に相違ないことを確認されましたら、チェックボックスにチェックを付けてください。

注1 ⑥の「住所」欄、⑪の「電話番号」欄、⑫の「メールアドレス」欄は、土地評価精通者業務を個人として希望する場合に記入してください。  
 2 ⑬の「精通している地域等」の「市区町村名又は税務署名」欄は、希望する地域を複数記入することができます。記入欄が不足する場合は適宜の用紙を使用してください。なお、鑑定評価及び意見価格の提出を依頼する地域等は、必ずしも希望の地域とならない場合があります。  
 3 ⑮の「職歴」欄は、直近3年間の不動産鑑定業務に係る職歴を記載してください。  
 なお、病気・出産等により不動産鑑定業に従事できなかった期間がある場合には、出産等により従事できなかった期間を除いた通算3年半の職歴を記載してください。  
 4 ⑮の「件数」欄は、直近3年間の鑑定評価実績を記載してください。  
 なお、病気・出産等により不動産鑑定業に従事できなかった期間がある場合には、その従事できなかった期間を除く直近の通算3年間で各年（12か月）に区切り、その期間の実績を記載してください。